



仙台市営交通100周年

1926 >>>>>>> 2026

資料編

100年の記憶.....	106
100年を走った車両.....	110
オリジナルグッズ.....	118
年表.....	120
仙台市交通局の紹介.....	128
運輸成績の推移.....	136

100年の記憶

乗車券



市電 創業当時の乗車券



市電 大正15年～昭和2年



市電 昭和2年～昭和4年



市電 昭和19年～昭和21年



市電 昭和26年～昭和29年



市電 昭和37年～昭和40年



市電 昭和45年～昭和47年



市電 昭和49年～昭和51年

回数券



市電 大正15年～昭和2年



市電 昭和19年～昭和21年

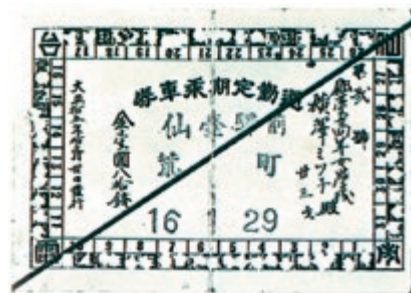


市電 昭和37年～昭和40年



市電 昭和47年～昭和49年

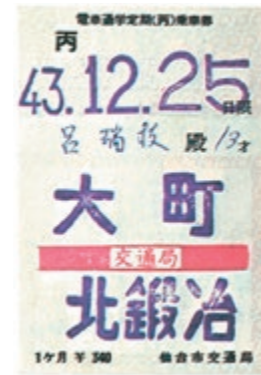
定期券



市電 大正15年～昭和2年



市電 昭和4年～昭和19年



市電 昭和40年～昭和45年



市電 昭和48年～昭和51年

記念乗車券



仙台市電おなごり乗車記念 昭和51年



仙台市電廃止記念 昭和51年



仙台市電廃止記念 昭和51年



仙台市電廃止記念 昭和51年



仙台観光記念乗車券 昭和56年



仙台市交通事業創業55周年記念乗車券 昭和56年

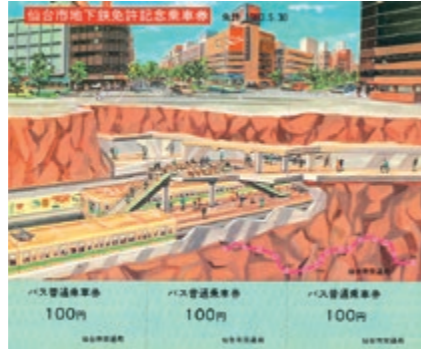


100年の記憶

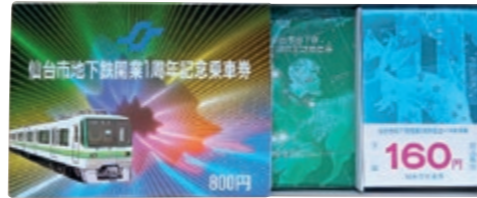
記念乗車券



東北新幹線開業記念乗車券
昭和57年



仙台市地下鉄免許記念乗車券 昭和55年



仙台市地下鉄開業1周年記念乗車券 昭和62年



仙台市制施行95周年記念乗車券
昭和59年



仙台市地下鉄開業記念乗車券 昭和62年



仙台市交通事業60周年記念乗車券 昭和61年



光のページェント記念乗車券 平成8年



仙台市地下鉄八乙女・泉中央開通記念乗車券 平成4年

バスカード



バスカードバリエーション



るーぶる仙台運行記念



人口100万人達成

スキップカード



スキップカードバリエーション



仙台地下鉄10周年記念



市バス60周年地下鉄15周年記念



バスシリーズ

ジョイカード



ジョイカードバリエーション



東西線開業予定記念

100年を走った車両—市電



モハ1型
大正15年9月に川崎造船所で新造された木造四輪単車。大正15年11月25日の市電創業の時から約40年にわたり、仙台市民の足として大いに活躍しました。昭和51年の市電廃止時には創業当時の姿に修復されてお別れ運転を行いました。
【市電保存館に展示されています。】



モハ45型
流線型は新鋭車として市民に愛され昭和40年まで活躍。



モハ60型
戦時中は新車の増備が不可能で中古車を譲り受けしのいだ車両。



モハ100型
100型は仙台市電では最初の大型車。123号車は昭和28年3月に新潟鉄工場で新造された半鋼製二軸ボギー車で、市電廃止まで長く主力電車として活躍しました。
【市電保存館に展示されています。】



モハ400型
昭和38年4月に日本車両製造所で製作された全鋼製二軸ボギー車。仙台市電最後の新造車で、市電廃止まで活躍しました。軽量化と自動車部品を取り入れて保守性の向上を図っていました。
【市電保存館に展示されています。】



モハ130型
昭和40年、茨城交通から譲受した半鋼製ボギー車。



モハ180型
輸送力の増強を図る為、昭和39年に琴平参宮電鉄から譲受した半鋼製ボギー車。



モハ200型
窓の広い流線型のスマートな姿は市民から親しまれました。



モハ300型
モハ1型2両を連絡改造した車両で2編成ありました。颯爽と走る姿は旅行者に注目されました。



モハ2000型
昭和43年に路面電車を廃止した呉市交通局から譲受した全鋼製ボギー車のワンマンカー。



モハ3000型
呉市交通局から2000型とともに譲受した全鋼製ボギー車のワンマンカー。

100年を走った車両—市バス



日野トレーラーバス（昭和23年式）



ふそうB25型ロマンスカー（昭和28年式）



ニッサンUG590型ロマンスカー（昭和31年式）



ふそうB25（昭和31年式）貸切バス車両



いすゞ BXX352（昭和33年式）一般路線バス車両



日産380キャブオーバー型（昭和33年式）



日産380の車内前方の様子です。運転席の脇（でっぱり部分）にエンジンがあります。



日産380の車内後方の様子です。



いすゞ BA741

初代ワンマンバス車両。均一料金区間で運行していました。



いすゞ BA741の車内前方の様子。前扉から乗車し、先に運転席脇の料金箱に運賃を投入していました。



いすゞ BA741の車内後方の様子。後扉から降車していました。



日野RE120型（昭和40年式）
全長10.02mのロマンスカー



三菱MR410（昭和49年式）
新車で購入した最後のツーマン車両です。



ニッサンU20L（昭和51年式）
鮮やかな緑のラインが特徴のグリーンバス車両です。

100年を走った車両—市バス



日野K-RC321 (昭和55年式) 空港リムジンバス



日野P-RJ172BA (昭和59年式) 中型バス



三菱MP117M (昭和54年式)
学生がデザインをしたバスです。



いすゞP-LR212J (昭和62年式) 中央循環専用の中型バス



三菱U-MS729S (平成3年式) スーパーハイデッカー
貸切バスを改造して空港リムジンバスにした車両です。

ニッサンKC-UA460KAN (平成10年式)
初代ノンステップバス
初代のノンステップバスで、これ以降、ノンステップバスが主流になりました。令和7年4月時点では、在籍車両の約96%がノンステップバスになっています。



三菱U-MS729S (平成4年式) 貸切バス



三菱PA-MK27FH改 (平成19年式) 中型バス



いすゞ KC-LV280N改 (平成12年式)
全面2枚ガラス仕様のワンステップバスです。



日野KC-RR1JAA改 (平成11年式)
初代の一歩バスです。

ニッサンKC-UA460LAN (平成8年式)
青ガラスバス

ガラスに青ガラスを採用した車両。バスのカラーリングにマッチした個性的な車両で、令和5年度で廃車の予定でしたが、車両の置き換え計画の変更により現在も川内・実沢の各営業所に1両ずつ、計2両配置され、教習車等で活躍し、今も多くのお客様から愛されている車両です。



日野KK-RX4JFEA (平成12年式)
初代旭ヶ丘-南光台循環のコミュニティバスです。



日野ACG-HU8JMFP (平成19年式)
CNGバスと同様に、環境に配慮したハイブリッドバスです。

100年を走った車両—地下鉄



南北線 1000系
1000系車両は、ワンマン運転のための装置として、予見ファジィ方式自動列車運転装置や空間伝送光中継方式を用いた対列車画像伝送装置、モニタリング装置など、当時としては最新鋭の機器を導入しています。その結果、先進的な電車という高い評価を得て、「ローレル賞」を受賞しました。



東西線2000系
2000系車両は、登坂能力に優れているリニアモータ方式を採用しています。また、台車には曲線通過性能が優れているリンク式操舵台車を採用することで、曲線走行時の騒音や摩耗の抑制を図りました。

南北線 3000系
3000系車両は、車内カメラの導入、モーターとその制御装置に省エネ機器の採用など安全性・経済性の向上を図っています。また、低床化によるホームとの段差縮小、冷房能力の1.5倍向上、液晶式車内案内表示器の採用など、お客様サービスの向上を図り、外装デザインについては市民の皆さまの投票によって選定されました。仙台らしさを表現した内装や快適性向上が評価され、「2024 グッドデザイン賞」を受賞しました。



東西線2000系
「金の前立て」仕様の列車
前面には伊達政宗公の兜の前立てをイメージした三日月形の造形をあしらっています。全15編成のうち1編成のみ兜の前立てを史実に近い黄金色にしています。



砕石運搬散布車 (2005～)



ハイブリッド式モーターカー 1号車 (2006～)



軌道1号車



高所作業車



レール運搬車 (2013～)



建築限界測定車 (2024～)



洗浄車



レール削正車 RS-01

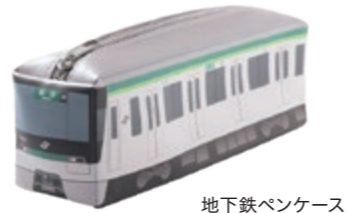
オリジナルグッズ



アクリルキーホルダー



市バスペンケース



地下鉄ペンケース



エコバッグ



ハンカチ

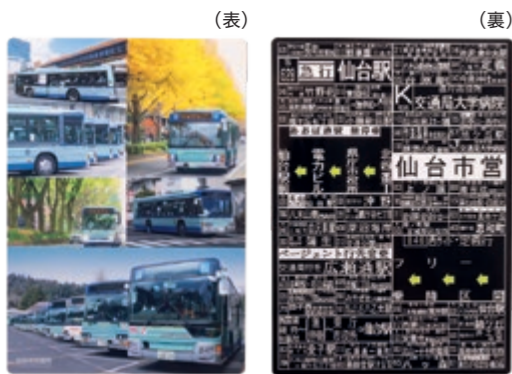
市バス



市バスぶるぶる



キッズ用靴下



(表)

(裏)

市バス下敷き

青葉あさひ



クリアファイル



(表)

アクリルキーホルダー



缶バッジ

地下鉄



3000系チョコロQ



3000系目覚まし時計



2000系タオルマフラー



DVD (児童向け)



DVD (2000系)



Blu-ray / DVD
3000系・2000系



3000系
クリアファイル



ハシ鉄 (上:1000系 下:3000系)

イクスカすずめ



ボールチェーンマスコット



ぬいぐるみ



靴下



クリアファイル



バスケース

クリアシール



過去の人気商品



市バスマット



市バストミカ



2000系チョコロQ



地下鉄シート
ペンケース

イクスカとことコスズメ

※掲載グッズは令和8年3月現在のものです
※「チョコロQ」「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です

年表

年号	月日	主要事項
大正 15	10. 31	電車1型車10両 川崎造船所から購入
	11. 11	電車運輸開始認可
	11. 24	市議会で電車開通に関する議案可決
		電気部電車課設置
	11. 25	『仙台市電』開通 (仙台駅前〜大町一丁目2.1km、東五番丁〜荒町間1.2km) 1区4銭の区間制 記念式典を西公園にて挙行 仙台市電気軌道乗車料条例公布
昭和 元	12. 25	大正天皇崩御「昭和」に改元
昭和 2	1. 1	軍人割引制度実施 (往復券1区につき5銭)
	4. 1	大町一丁目〜大学病院前間 (1.2km) 開通
	8. 1	大学病院前〜荒町間運転開始
	10. 31	仙台駅前〜光禅寺通間 (0.7km) 開通
	11. 24	電車料金改正 区間制を5銭均一制に改正
	12. 24	市議会でバス事業経営についての建議書採択
	12. 25	光禅寺通〜県庁前間 (0.9km) 開通
昭和 3	3. 28	県庁前〜大学病院前間 (1.7km) 開通 「循環線」全線 (6.0km) 開通 西公園にて開通式挙行
	4. 1	原町、長町、南小泉が仙台市に合併
	4. 8	「芭蕉の辻線」 (南町〜芭蕉の辻間0.3km) 開通
	4. 15	「東北産業博覧会」開催 (花電車一週間運転)
	5. 6	電車 北二番丁車庫および営業所竣工 (片平丁出張所廃止)
	11. 10	昭和天皇「御大典奉祝花電車」運転
	12. 26	電車「第2期電気軌道敷設計画」市議会で可決
昭和 4	7. 26	電車「散水車」運転開始
	8. 1	早期割引時間を30分延長
	8. 7	不況対策として回数券・定期券の割引発売
	8. —	8月中土曜日ごとに「納涼演芸会」を開催し増収をはかる
	9. 29	国鉄「仙山線」仙台〜愛子間開通
昭和 5	4. 1	電気部電車課を電気水道事業部電車事業部に改正
	5. 30	長町、北仙台、八幡町、原町線敷設の特許おける
	7. —	仙台市街自動車株式会社に「市内遊覧バス」運行開始
昭和 6	2. —	秋保電気鉄道株式会社に長町〜秋保温泉間のバス営業開始
	4. 1	荒巻北根地区 (七北田村の一部) が仙台市に合併「自動車交通事業法」公布
	6. 18	都市計画実施案提出
	9. 18	満州事変勃発
昭和 7	12. 15	増収策として割引回数券第1回発売 (20回50銭券1万冊)
	1. 1	増収策として割引回数券第2回発売 (20回50銭券1万冊)
	4. 28	第二師団凱旋の花電車運転
	6. —	中央放送局と共催でラジオ展覧会を開催
	10. 1	西多賀村が仙台市に合併
昭和 7	11. —	第二期軌道建設工事に着手 (長町線)
	12. 15	回数券の割引発売 (バス料金と同額とするため22回券1円を65銭で発売)

年号	月日	主要事項
昭和 8	1. 8	多門第二師団長凱旋 戦勝祝賀花電車運転
	2. 12	荒町〜愛宕橋間 (0.3km) 開通
	3. 3	昭和三陸地震津波発生 (M8.1 / 最大震度5)
	7. 5	愛宕橋〜誓願寺通間 (0.2km) 開通
	9. 5	仙台市紋章制定
昭和 9	12. 14	誓願寺通〜舟丁間 (0.4km) 開通
	2. 1	皇太子御誕生および建国祭奉祝花電車運転
	4. —	電車30型車6両購入
昭和 10	12. 2	舟丁〜河原町間 (0.6km) 開通
	1. 1	積雪1mのため電車運行不能となる
昭和 10	3. 30	電車 土樋変電所開設
	4. 17	霊屋橋竣工 (鉄筋コンクリート製アーチ橋に架け替え)
	5. 20	愛宕橋竣工 藩祖伊達政宗公300年祭記念 (記念乗車券発売)、産業観光博覧会記念花電車運転
	7. 31	広瀬川専用橋完成
	8. 21	河原町〜新河原町間 (0.2km) 開通
	11. 21	電車30型車6両購入
	11. 30	電車 土樋変電所を東北電力土樋火力発電所内に統合
昭和 11	1. 16	新河原町〜長町北町間 (0.3km) 開通
	4. 1	評定河原に「仙台市動物園」開園 電車事業所の所管に 開園記念乗車券付観覧券発売
	5. 28	片平丁〜動物園間の乗合バス運行計画可決
	8. 6	長町北町〜長町南町間 (0.5km) 開通
	12. 11	長町南町〜長町駅前間 (0.5km) 開通「長町線」全線 (4.2km) 開通
	12. 24	市電と秋保電鉄との連絡乗車券発売
昭和 12	3. 30	仙台市街自動車株式会社買収の件 市議会で可決
	4. 20	電車女性車掌はじめて乗務
	7. 7	日華事変勃発
	10. 25	北四番丁〜北仙台駅前間 (1.2km) 開通「北仙台線」全線開通
	11. 10	国鉄「仙山線」仙台〜山形間全通
昭和 13	11. 27	仙台市街自動車株式会社買収の起債不許可
	4. 1	国家総動員法発令
	4. 2	陸上交通事業調整法公布
	5. 1	ガンリン配給切符制となる
	7. 20	八幡町線、原町線の工事施行の認可申請
昭和 13	8. 4	電車 北二番丁車庫増改築完成 電車45型車3両購入
	9. 2	旧片平丁事務所を診療所として利用することを可決
	10. 5	自動車取締令 一部改正
	2. 11	仙台市電車事業所産業報国会創立
	2. 14	市電と秋保電鉄の相互乗り入れの意見出る
昭和 14	2. 19	仙台市立中学校設立資金に電車収益金を充当 (12万円)
	7. 7	電車 八幡町線蟹子沢の暗渠工事に着手 (昭15.5.30完了)
	7. 11	八幡町線 大学病院前〜土樋通間 (0.6km) 開通
	12. 17	ガス事業買収資金の一部に電車収益金を充当 (22万円)

年号	月日	主要事項
昭和 15	1. —	電車 傷痍軍人すべて無料とする
	4. —	紀元2600年奉祝記念 花電車運転
	12. 28	土樋通〜八幡町一丁目間 (0.4km) 開通
	12. 30	八幡町一丁目〜八幡町二丁目間 (0.2km) 開通
		電車 60型車2両 東京都より譲受
昭和 16	4. 1	仙台市営ガス事業営業開始
	8. 1	急行電車朝夕2時間運転 (9停留場通過)
	9. 11	ガンソリンの配給停止
	9. 15	名取郡中田村・六郷村、宮城郡岩切村・七郷村・高砂村が仙台市に合併
	10. 10	八幡町二丁目〜滝前丁間 (0.4km) 開通「八幡町線」全線 (1.6km) 開通
昭和 17	12. 8	太平洋戦争勃発
	1. 10	電車1型車、60型車の救助網撤去
	4. 1	電気水道事業部電車事業所を事業部電車課に改正
	4. —	電車60型車2両江の島電鉄株式会社より譲受
	6. 27	電車60型車3両東京都より譲受
	8. 21	仙台市街自動車株式会社を買収 (買収価格33万円) 事業部に自動車課新設 『市バス』として営業開始
	10. 1	電車60型2両名古屋鉄道株式会社より譲受
昭和 18	11. 1	事業部電車課・自動車課を事業部交通課電車事業所・自動車事業所に改正
	4. 1	戦時下輸送確保のため電車停留場15か所を廃止
	11. 19	近郊の民営バス会社 (定義・増東・根白石・山山・港組) を市バスに買収統合
昭和 19	12. 1	市バス料金改正 (1区10銭)
	1. 10	電車「早朝割引制度」廃止
	6. —	戦時の重点輸送のため、貸切自動車運送事業を廃止
	7. 1	電車料金改正 (10銭均一) 工員定期券新設
	8. 1	産業戦士輸送のため「循環線」朝夕運休
昭和 20	11. 22	電車で戦時用物資を輸送
	12. 10	電車「芭蕉の辻線」廃止
	3. 12	終事後、電車を被爆回避のため各支線に疎開
	3. 15	北二番丁女子寄宿舎全焼
	7. 10	仙台空襲 (仙台市中心部焼失、被災戸数約12,000戸) 空襲により循環線、長町線の一部およびバス駅前車庫施設に損害
	7. 11	電車 一部折り返し運転開始
	8. 15	第二次世界大戦 終戦
8. 20	電車軌道復旧作業完了 全線運転再開	
昭和 21	2. 1	電車 混雑緩和のため一方乗降方式をとる
	4. 15	電車料金改正 (20銭均一) 市バス料金改正 (1区25銭)
	7. 1	食糧事情悪化のため、職員に山菜採集特別休暇を与える
	7. 9	進駐軍用ダンサー電車 運転開始
	9. 15	市バス料金改正 (1区50銭)
昭和 22	12. 25	「原町線」花京院〜榴岡間 (1.6km) 開通
	2. 20	電車料金改正 (30銭均一)
昭和 22	3. 1	市バス料金を対キロ制に改正 (賃率40銭 最低料金50銭)

年号	月日	主要事項
昭和 23	7. 7	電車料金改正 (1円均一)
	7. 29	市バス料金改正 (賃率85銭 最低料金1円) 山間積雪路線の割増料金制度新設 (21路線)
	1. 1	電車料金改正 (1円50銭均一)
	3. —	電車塗色変更 (市民から募集)
	4. —	電車70型車10両 東京都より譲受
昭和 24	5. 5	「原町線」榴岡〜原町駅前間 (1.4km) 開通「原町線」全線 (3.0km) 開通
	5. 18	電車料金改正 (2円50銭均一) 市バス料金改正 (賃率1円50銭)
	5. 30	市バスに女性車掌復活
	8. 1	電車料金改正 (5円均一) バス料金改正 (賃率2円25銭)
	11. —	電車70型車10両 改造完成
	12. —	電車100型車 (最初のボギー車) 5両購入
	4. 20	市制60周年記念 花電車運転 (グラントフェア)
昭和 25	4. 22	市バス初の「トレーラーバス」2両購入
	5. —	市バス塗色変更 (ボディカラーを電車と同じ色に統一)
	6. 15	電車料金改正 (7円均一)
	7. 20	市バス料金改正 (賃率2円25銭 最低料金5円)
	7. 30	庶務課・保線課を新設 (4課8係)
昭和 26	11. —	電車100型車5両購入
	4. 1	軌道の改良がすすみ電車のスピードアップをはかるため並列運転再開
	4. —	東北こども博覧会開催記念 花電車運転
	5. 31	仙台駅前に市バス案内所新設
	6. 25	朝鮮戦争勃発
昭和 27	8. 4	集中豪雨で河原町付冠冠水 電車運行不能
	9. —	電車 集電装置を全車ビューゲル化
	11. —	電車100型車5両購入
	12. —	電車 長町車庫新設 長町駅前、原町駅前に操車場開設 バス 広瀬通車庫開設
	2. 12	電力事情悪化のため電車間引運転
	4. 2	運輸課・車両課廃止、電車課・自動車課新設
	5. 31	市バス 広瀬通事務所開設 (昭37に車庫化)
5. —	児童憲章宣言記念 花電車運転	
昭和 28	7. 15	巨理部内バス路線を移譲
	12. 27	電車料金改正 (10円均一) 市バス料金改正 (賃率2円60銭 最低料金10円) 市内均一制採用 (10円均一) 小児料金新設 (大人の半額)
	3. —	北仙台変電所開設
	4. 20	「市内定期観光バス」運行開始 花まつり 花電車運転
	7. —	電車100型車9両購入
昭和 29	8. 1	電車「原町線」複線開通
	10. 1	交通部を交通事業局に改め、総務課・経理課を新設 (5課、14係)
	10. 19	第7回国民体育大会開催記念花電車運転

年号	月日	主要事項	
昭和 28	4. 1	電車 循環系統を廃止	
	10. 10	移動動物園開園記念花電車運転	
	11. 一	市バス 定禅寺通車庫使用開始	
昭和 29	2. 20	電車料金改正 (13円均一) 市バス料金改正 市内均一制を廃止し、区間制に変更 (1区10円 2区15円) 電車・バス料金に労務者割引制度新設	
	4. 17	仙台さくら祭花電車運転	
	7. 25	電車200型車5両購入	
	7. 31	「八幡町線」複線化完成	
	8. 1	電車全線複線完成祝賀 花電車運転 電車、市バスに福祉割引制度新設	
	昭和 30	6. 一	電車200型車3両購入
		8. 4	電車1型車4両を連節車2両に改造 300型へ
		9. 16	交通事業局を交通局に改め、電車部・自動車部新設 (2部7課19係2車庫)
10. 25		日米野球の観客輸送のため電車・バス臨時増車運転	
12. 10		広瀬通東一番丁にバス待合所開設	
昭和 31	2. 13	秋保電鉄株式会社との連絡乗車券発売協定廃止	
	4. 1	仙台市、生出村を編入	
	7. 1	市バス 長町営業所開設 交通局創業30周年記念「納涼ほたる狩大会」開催 (榴岡公園)	
	9. 1	電車 団体割引制度新設	
	11. 22	交通局創業30周年記念式典挙行	
	11. 25	創業30周年記念乗車券発売	
	12. 18	日本、国際連合に加盟	
	昭和 32	3. 9	仙台市、米国リバサイド市と国際姉妹都市提携
3. 15		電車200型3両購入 節電のため電車15%の間引運転	
4. 24		矢ノ目飛行場、民間空港「仙台飛行場」として供用開始 (昭39.3.17仙台空港と改称)	
5. 3		日専連全国大会せんもん祭花電車運転	
5. 6		霞の目飛行場 米軍から返還	
10. 12		鳴子ダム 完成	
昭和 33	7. 5	納涼バス運転開始	
	9. 26	台風22号により電車、バスの運行混乱 (~ 9.27)	
	10. 1	広瀬橋架替工事のため電車単線運転	
11. 27	バス料金改正 (賃率3円55銭 最低料金10円/市内13円均一に再変更)		
昭和 34	3. 18	電車に女性車掌14年ぶりに登場	
	3. 一	電車400型車4両購入	
	4. 1	「仙台ー松島定期観光バス」運行開始	
	6. 6	市制70周年記念 電車・バス記念乗車券発売	
	6. 15	市制70周年記念 花電車運転	
	7. 3	秋保電気鉄道株式会社と仙南交通自動車株式会社が合併し、仙南交通株式会社を設立	
	8. 4	広瀬橋架替工事竣工 電車新橋開通	
	11. 1	電車部に北二番丁、長町営業所を新設 自動車部に乗客課新設 広瀬通、定禅寺通、霞の目、東仙台、観光貸切営業所開設	

年号	月日	主要事項
昭和 35	9. 1	荒町〜五橋50m区間に初めて軌道敷内自動車乗り入れ許可
	9. 18	電車 片平丁変電所新設運転開始 (大町変電所廃止)
	11. 1	国鉄「仙山線」全線電化完成
昭和 36	3. 1	国鉄「東北本線」上野〜仙台間電化完成
	4. 1	合理化方策「仙台市交通局企業再建に関する方策」実施
	4. 一	電車400型車3両購入
	5. 7	仙南交通株式会社 (鉄道部門) 長町〜秋保間軌道廃止
	8. 3	大倉ダム 通水開始
	9. 16	第二室戸台風のため電車減車運転
昭和 37	3. 16	仙台市「健康都市宣言」
	3. 20	電車料金改正 (15円均一) 福祉児童割引制度新設
	4. 17	仙台鉄道株式会社、古川交通株式会社、塩釜交通株式会社が合併し、宮城バス株式会社となる
	8. 1	東北急行バス 仙台〜東京間運行開始
	9. 26	電車400型車3両購入
	10. 一	バス中古車 東京都から11両、川崎市から4両購入
昭和 38	11. 9	蔵王エコーライン全線開通 (全長26km)
	12. 25	市バス料金改正 (賃率4円30銭/最低料金10円) 市内特定区間制採用
	3. 1	市バス 七北田営業所開設
	4. 一	電車400型車5両購入
	7. 20	仙台市交通対策委員会発足 (仙台市の交通一般及び交通事業の改善対策について諮問)
昭和 39	10. 11	長町〜五橋間3,377mが軌道敷内自動車通行許可となる
	3. 3	仙台湾臨海地域が新産業都市に指定
	3. 9	合理化対策「昭和39年度健全化方策」実施
	4. 14	宮城バス株式会社と仙北鉄道株式会社が合併し、宮城バス株式会社となる
昭和 40	5. 1	定期観光バス「市内近郊コース」新設
	8. 一	電車180型車6両 琴平参宮電鉄株式会社より譲受
	10. 1	「東海道新幹線」開業
	10. 10	第18回オリンピック東京大会 開催
	1. 26	労働組合ベア交渉でハンスト、超勤拒否のためダイヤ乱れる
	4. 1	電車軌道重軌条恒久化5か年計画に着工
昭和 41	4. 15	電車料金改正 (20円均一)
	6. 16	市バス料金改正 (賃率5円30銭 最低料金15円/市内20円均一に再変更)
	7. 1	ワンマンバス運行開始 (台原、川内、ビジネス循環線)
	8. 一	電車130型車10両 茨城交通株式会社より譲受
	12. 1	バス「仙台空港線」(仙台駅前〜仙台空港) 運行開始
	3. 一	市バス 白沢出張所開設
	7. 17	市バス 川内営業所開設
	10. 21	電車 軌道敷内全線自動車通行許可に
12. 24	19年ぶり積雪23cmの大雪 電車全線麻痺	

年号	月日	主要事項	
昭和 42	5. 一	仙台市、人口50万人突破	
	6. 10	仙台市、市制施行78周年記念式と人口50万人突破祝賀式を挙行	
	6. 18	市バス 南仙台営業所 (名取市) 開設	
	9. 1	電車・バス共通回数券発売	
	9. 6	仙台市、仏国レンヌ市と国際姉妹都市提携	
	11. 7	電車「ワンマンカー」運行開始 (原町循環線)	
	12. 6	仙台市交通対策委員会より「広域都市的発展に即応する交通網の整備」について答申	
	昭和 43	4. 17	電車2000型車2両、3000型車7両、呉市交通局より譲受
		5. 16	仙台市交通安全対策協議会発足
		8. 25	電車「北仙台線」廃止についての説明会妨害で流会
		9. 11	電車「北仙台線」廃止に関する議案市議会に提案 (反対する学生等が市議会議場に乱入、会議一時ストップ/昭43.9.18可決)
	12. 23	仙台民衆駅建設を断念、地下街建設推進を決定	
昭和 44	2. 10	電車 定期券料金割引率引き下げ	
	3. 4	大雪のため、電車半日運行ストップ	
	3. 27	電車「北仙台線」廃止 無料記念乗車券発行	
	3. 31	電車「北仙台線」廃止	
	6. 7	電車1号車展示記念式典 (西公園)	
	6. 16	仙台市交通計画委員会設置	
	7. 16	市長、仙台市を中心とする都市交通の基本計画、特に高速大量輸送計画について諮問	
7. 20	アポロ11号、人類初の月面着陸		
昭和 45	11. 7	市バス 塩釜出張所開設	
	11. 11	市バス 東仙台営業所焼失	
	3. 11	市バス料金改正 (賃率6円70銭 最低料金20円/市内30円均一/山間料金制度廃止)	
	3. 15	日本万国博覧会 (大阪万博) 開催 (~ 9.13/183日間)	
	4. 8	電車料金改正 (定期券を除く/ 30円均一) 小児券新設	
	8. 1	電車定期券料金改正 中学、小学通学定期券を分離	
	10. 1	宮城交通株式会社、宮城中央交通株式会社、仙南交通株式会社が合併、宮城交通株式会社として発足	
	4. 11	郊外多区間ワンマンバス運行開始	
昭和 46	5. 1	電車部と自動車部を統合して営業部とし、電車北二番丁営業所と長町営業所を統合し電車営業所を設置、管理課、輸送課を自動車第1課、自動車第2課と改称	
	6. 1	国道4号線 北仙台駅前〜市役所前の上り線に 市内初の「バスレーン」設定 (1.2km)	
	7. 17	仙台港 開港	
	5. 15	沖繩本土復帰「沖繩県」発足	
昭和 47	6. 26	市バス 川内営業所 新築落成	
	7. 10	市バス料金改正 (賃率9円 最低料金30円/市内40円均一/回数券の多区間使用実施)	
	8. 14	市バス 北仙台営業所開設	
	11. 1	仙台市市電問題協議会設置	
	11. 2	「仙台駅前バス案内センター」を丸光デパート内に開設	
	12. 1	電車料金改正 (40円均一) 全線定期券廃止	

年号	月日	主要事項
昭和 48	3. 8	仙台市長「市電廃止」の方針を市議会で表明
	3. 9	国道45号線 原町坂下〜花京院間 軌道敷内電車・バス専用レーンのテスト実施
	6. 15	仙台市内総合交通規制実施
	9. 一	市電対策要綱策定 (電車廃止計画)
昭和 49	3. 19	仙台市交通事業の再建計画 承認される
	4. 11	74春闘ストライキのため、電車・バス一日全面運休
	7. 10	市バス料金改正 (賃率11円90銭 最低料金40円/市内50円均一)
	8. 4	市バス 日祝ダイヤ導入
	11. 1	電車料金改正 (50円均一) 貸切制度廃止
11. 14	電車、バスに盲導犬の乗車を認める	
昭和 50	4. 1	市バス 貸切事業縮小 (20両を10両に)
	8. 19	「仙台地方陸上交通審議会」にて地下方式の高速鉄道整備を急ぐべきとの答申が出される
	9. 1	市バス料金改正 (賃率16円50銭 最低料金50円/市内70円均一) 通学定期料金の遠距離通減制採用
10. 8	市電廃止に関する議案 市議会にて可決 軌道事業廃止許可申請書提出	
昭和 51	2. 23	高速鉄道建設促進協議会設置
	3. 6	宮城交通不採算バス路線の廃止表明
	3. 15	市電廃止記念乗車券発売
	3. 20	市電廃止記念花電車運転
	3. 22	軌道事業廃止の許可おける
	3. 31	『市電廃止』お別れ式 (長町、原町、八幡町各終点、仙台市役所前)、お別れ電車運行 市電終業記念式典挙行/軌道事業廃止 「グリーンバス」運行開始
	4. 1	市バス 長町営業所移転
	4. 一	自動車第1課を業務課、自動車第2課を輸送課に改称
	4. 一	市電北二番丁車庫が市バス木町通駐車場へ
	10. 1	北西部振興団地にバス路線新設
昭和 52	3. 16	仙台市交通事業再建計画の変更に関する議案市議会にて可決 変更を国に申請し、同日付で承認
	5. 11	全自交宮城地本が48時間スト、仙台でタクシー1,200台ストップ
	6. 10	仙台市、市制88周年記念式典挙行
	9. 29	仙台大都市周辺地域広域行政圏設定
	10. 1	仙台都市圏広域行政推進協議会が設立
12. 15	新仙台駅開業	
昭和 53	5. 26	市議会において「高速鉄道の建設及び経営に関する件」議案可決
	6. 10	運輸大臣 (当時) に地下鉄南北線の地方鉄道事業免許を申請
	6. 12	宮城県沖地震発生 (M7.4 / 震度5) 仙台市域 (旧泉市・旧宮城町・旧秋保町含む) で、死者16人、住家全半壊が4,385戸
昭和 54	6. 12	仙台市「防災都市宣言」
昭和 55	3. 30	新市立病院 完成
	4. 1	交通局に高速鉄道建設本部設置
	5. 30	地下鉄南北線地方鉄道事業免許取得

年号	月日	主要事項
昭和 55	5. 30	「仙台市地下鉄免許証乗車券」発売
	9. 1	市バス 泉パークタウン出張所開設
	10. 27	仙台市、中国長春市と国際友好都市提携
昭和 56	11. 22	仙台市・泉市・宮城県の3者により、地下鉄早期着工で調印式
	2. 1	仙台南部道路(長町～山田間) 供用開始
	2. 14	運輸省が地下鉄建設計画の工事施工を認可
	3. 1	市バス 営業所「動物イラスト」表示開始
	4. 11	地下鉄南北線全工区を27工区に分け工事開始
	5. 7	地下鉄南北線地鎮祭・起工式
昭和 57	6. 10	仙台駅西口バスターミナル供用開始
	6. 19	市バス 冷房車導入
	11. 25	仙台市交通事業創業55周年記念乗車券発売
昭和 58	3. 1	交通局に地下鉄開業準備室設置
	6. 23	東北新幹線(大宮～盛岡間) 開業
	12. 21	地下鉄南北線旭ヶ丘トンネル到達式
昭和 59	5. 14	仙台北道路(広瀬通～仙台宮城IC間) 開通
昭和 59	1. 15	宮城交通との共通乗車券発売
	6. 4	地下鉄南北線北四番丁トンネル貫通式
	7. ー	「仙塩広域都市計画 都市高速鉄道 第2号」として仙石線の地下化による連続立体交差事業が都市計画決定
昭和 60	9. 1	仙台市体育館開業
	3. 2	地下鉄南北線正式駅名が決定
	3. 14	東北新幹線 上野駅乗り入れ
	3. 30	地下鉄南北線試作車搬入 車両基地にてテスト走行開始
昭和 61	9. ー	地下鉄南北線八乙女～台原間で試運転開始
	3. 1	仙台市博物館新築開館
	8. 4	台風10号による豪雨被害
	9. 26	地下鉄南北線全線レール締結式
	12. 12	第1回「SENDAI光のページェント」開催
昭和 62	12. 19	仙台高速鉄道サービス株式会社設立
	1. 30	地下鉄南北線全線試運転開始
	5. 4	地下鉄南北線「市民試乗会」開催
	7. 14	「グリーンバス」廃止
	7. 15	地下鉄南北線八乙女駅～富沢駅間開業(13.59km) 地下鉄開業によりバス路線再編実施
昭和 63	7. 18	「'87未来の東北博覧会」仙台港にて開催(～9.28 73日間)
	11. 1	仙台市、宮城町を編入合併
	11. 29	泉市において仙台市との合併の是非を問う「住民投票」実施、賛成多数となる
昭和 64	2. 9	地下鉄南北線泉中央～八乙女間延伸を運輸省が認可
	2. 15	地下鉄東西線建設促進期成同盟会結成
	3. 1	仙台市、泉市・名取郡秋保町を編入合併
	7. 22	地下鉄南北線泉中央～八乙女間延伸の鉄道事業免許交付
昭和 64	9. 20	フリー乗降バス運行開始
	1. 7	昭和天皇 崩御

年号	月日	主要事項
平成 元	1. 8	「平成」に改元
	4. 1	「消費税」導入(税率3%) 仙台市、全国で11番目の政令指定都市に
平成 2	4. 14	消費税導入に伴うバス・地下鉄の運賃改定を実施
	6. 10	仙台市「市制施行100周年記念式典」挙行
	7. 29	'89グリーンフェアせんだい(泉区七北田公園、青葉区勾当台公園)開催(～10.16)
	11. 9	地下鉄南北線泉中央～八乙女間延伸起工式 ドイツ「ベルリンの壁」崩壊
平成 3	3. 5	市バス料金 市内均一制廃止、対キロ区間制全線採用
	4. 6	仙台空港初の国際定期便運航開始(仙台～ソウル間)
	1. 17	湾岸戦争勃発
平成 4	4. 25	「市電保存館」開館
	6. 20	東北新幹線 東京駅乗り入れ
	ー ー	市バス「経営健全化5か年計画」策定
	ー ー	JR仙石線と接続する仙台～西公園間の地下鉄「東西線」、仙台市営モノレール南西線を断念
平成 5	1. 16	市バス「土曜・休日ダイヤ」実施
	3. 1	市バス・地下鉄の運賃改定実施
	7. 14	市バス 北仙台営業所・根白石出張所 閉所
	7. 15	地下鉄南北線泉中央～八乙女間延伸開業(1.18km) 泉中央駅開業によりバス路線再編 市バス 実沢営業所 開設
	7. 16	塩釜・七ヶ浜線を移譲
平成 6	10. 10	泉中央駅ビルオープン
	11. 5	車いす用「リフト付きバス」運行開始
	11. 20	「ハイブリットバス」運行開始
	4. 3	地下鉄ダイヤ改正(土曜ダイヤ新設)
	6. 9	皇太子殿下・雅子様 御成婚
平成 7	6. 14	地下鉄「東西交通軸促進調査特別委員会」市議会に設置
	7. 7	市バス全車冷房化達成
	7. 27	「ギャラリーバス」運行開始
	8. 1	地下鉄「プリペイドカードシステム」供用開始
	2. ー	地下鉄南北線黒松駅にエレベーターを設置、南北線全線に設置完了
平成 8	3. 28	市バス 岡田出張所 開設
	3. 30	七北田営業所を東仙台営業所の出張所に、南仙台営業所を長町営業所の出張所に変更
	3. 30	仙台東部道路(仙台東～仙台空港) 供用開始 仙台南部道路(長町～仙台若林JCT) 供用開始
	9. 4	関西国際空港開港
	9. 15	バスの「プリペイドカードシステム」供用開始(地下鉄・宮城交通との共通化)
平成 9	1. 17	阪神・淡路大震災発生(M7.3/最大震度7)
	3. 1	市バス運賃改定実施
	3. 17	地下鉄東西線約19万人の署名により建設促進が陳情される

年号	月日	主要事項
平成 8	3. 20	地下鉄サリン事件発生
	9. ー	「アイドリングストップバス」運行開始
平成 9	3. 1	空港バスにプリペイドカードシステム導入
	3. 29	市バス 閑上出張所 閉所
	4. 1	観光貸切営業所を係制に変更(組織改正) 敬老乗車証・ふれあい乗車証カード化 地下鉄ダイヤ改正(平日ダイヤ朝ラッシュ増便)
	6. 1	地下鉄運賃改定実施
平成 10	11. 2	「地底の森ミュージアム」(富沢遺跡保存館) 開館
	4. 1	消費税率引き上げ(3%→5%)
	4. 14	消費税率引き上げに伴うバス・地下鉄の運賃改定を実施
	6. 1	仙台スタジアム開設
	6. ー	LNG基地完成 タンカー初入港
平成 11	7. 11	仙台空港ターミナルビル 全面オープン
	8. 29	仙台市、米国ダラス市と国際友好都市提携
	10. 1	市バス 名取・岩沼地区の路線(4路線10系統)を移譲
	2. 17	市民各層の代表により構成された「まちづくりと東西交通軸に関する懇談会」にて平成22年を目標に事業推進を図るべきなど提言
	2. 23	平成14年度の事業許可申請、16年度工事着手を目標とする整備方針を公表
平成 12	3. ー	平成10～22年度を計画期間とし、軌道系交通機関を基軸としたまとまりのある集約型の市街地地形型への転換を目指す「仙台市基本計画」策定
	3. 23	市バス 南仙台出張所 閉所、エアポートルレー(館腰駅～仙台空港) 廃止
	3. 26	仙台空港 3000m滑走路 供用開始
	8. ー	地下鉄東西線整備ルート案を公表 シンポジウムや地域懇談会などで市民に説明し、理解を求め意見を聴取へ
	11. 2	交通局ホームページをインターネットで公開開始
平成 13	11. 21	超低床バス「ワンステップバス」運行開始
	1. 18	「パークアンドライド」事業開始(大型店と提携)
	3. 1	環境定期券制度「休日カルガモ家族」試行実施(～平12.3.31、平12.4.1～本格実施)
	3. 29	超低床バス「ノンステップバス」運行開始 地下鉄ダイヤ改正(平日ダイヤ 朝ラッシュ増便)
	4. 3	地下鉄ダイヤ改正(土曜ダイヤ廃止、土休日ダイヤに統一)
平成 14	4. 23	東北運輸局長の諮問機関である「東北地方交通審議会」より地下鉄東西線整備の必要性や整備区間などが答申される
	5. 11	仙台市、人口100万人達成
	5. 13	観光シティループバス「るーぶる仙台」運行開始(3両)
	9. 1	ポディー広告バス運行開始
	3. 5	CNG(天然ガス燃料)バス運行開始(令和3年度末で運行終了)
平成 15	3. 11	JR仙石線が地下化開業「あおば通駅」ホームへの専用乗継改札口の開設
	3. ー	東西線地下トンネル方式を基本とするルートで、リニアモーター地下鉄方式に決定

年号	月日	主要事項
平成 16	5. 3	八木山・川内地区ゴールデンウィーク交通渋滞対策に伴うシャトルバス運行(～5.5)以降平成27年度まで毎年GW期間の連休後半に実施(平成23年度は東日本大震災の影響により中止)
	10. 24	地下鉄東西線駅位置を決定し、駅名(仮称)を公表
	11. 2	環境影響評価法に基づく環境影響評価方法書の縦覧を開始
平成 17	1. 26	せんだいメディアテーク 開館 (バス定禅寺通車庫跡地)
	3. 31	一般貸切旅客自動車運送事業(観光バス)の休止
	4. 2	インターネット時刻表運用開始(民間と提携)
	8. 1	仙台東部・南部道路 全線開通
平成 18	11. ー	「東西線沿線まちづくりの基本方針」「東西線沿線まちづくり駅別行政素案」を策定し公表
	2. 1	都心バス100円均一運賃制度(100円バツ区)試行実施(～平15.9.30/10.1 エリアを拡大し本格実施)
	3. 29	仙台市がオムニバスタウンに指定
	7. 15	市バス運行開始60周年・地下鉄開業15周年記念事業実施(～8.25)
	10. 4	インターネット時刻表におけるバス路線検索システム運用開始(民間と提携)
平成 19	10. 6	市バス 泉パークタウン出張所 閉所 広瀬通車庫 閉所
	10. 7	市バス 泉パークタウン線など3路線14系統を路線移譲
	11. 13	東西線の早期実現を求める「市民総決起大会(主催：仙台商工会議所他)」開催
	12. 20	東西線が新規整備路線として国庫補助事業に採択されることが財務省の平成15年度予算原案で内示
	4. 1	東西線建設本部設置
平成 20	6. 9	地下鉄東西線鉄道事業許可申請(同年9.18許可)
	8. 6	るーぶる仙台「七タナイト号」運行(～8.8)以降七夕まつり開催期間に実施(令和2.3年度は新型コロナウイルスの影響で運行見合わせ)
	9. 13	秋のジュニアバス実施(～10.31)以降平成28年度まで実施
	3. 19	地下鉄ダイヤ改正(新幹線到着時刻の変更に対応し、毎週金曜日最終便を増発)
	3. 29	市バス 宮城学院線など2路線6系統を路線移譲
平成 21	4. 1	「仙台市高速鉄道東西線整備推進本部」(本部長：市長)を庁内に設置
	7. 17	JR東日本・宮城交通と共同で2日間フリーバス「仙台まるごとバス」実施
	12. 1	南北線泉中央駅 北改札口 供用開始
	1. 27	東西線最初の準備工事となる地下埋設物(下水道)移設工事に着手(西公園付近)
	3. 28	市バス ダイヤ改正(いずれも墓園系統を新設)
平成 22	4. 1	宮城球場へのシャトルバス運行開始
	4. 25	地下鉄東西線工事施工認可申請(同年8.10認可)
	8. 30	「グリーン経営」認証取得(自動車部)
平成 23	4. 1	白沢出張所の運転業務等を委託 バスロケーションシステム「どこバス仙台」運用開始
	4. 1	市バスダイヤ改正、系統番号の改正

年号	月日	主要事項
平成 18	11. 1	地下鉄東西線本体土木工事着手（新寺・連坊・六丁の目工区）
平成 19	2. 5	地下鉄東西線最初の土木工事安全祈願祭が六丁の目工区で開催 「地下鉄東西線着工記念式典」開催
	2. 12	地下鉄東西線広瀬川橋りょう他 設計協議によりデザインを決定
	3. 1	地下鉄南北線緊急地震警報システム導入
	3. 17	空港バス廃止
	3. 18	仙台空港アクセス線 開業
	3. 23	「新型ハイブリッドバス」運行開始
	4. 1	市バスダイヤ改正 四郎丸線再編（南仙台駅東口乗入れ）七北田線競合化
平成 20	3. 28	地下鉄南北線駅構内公衆無線LANサービス開始（泉中央、勾当台、広瀬通、長町）平24.5.31南北線全線に拡大
	4. 1	市バス 岡田出張所の運転業務等を委託 市バスダイヤ改正（JR陸前高砂駅前広場及びJR長町駅東口駅前広場への乗入れ、深夜バス系統の新設） 地下鉄「土・日・休日一日乗車券」発売開始
	4. 3	広告付バス停留所上屋（交通局大学病院前）供用開始
	9. 16	降雨降雪日の通学時間帯に一部路線を増発する“レイニーバス”の運行開始（～平27.12.4）
	10. 1	「学都仙台 市バス（+地下鉄）フリーパス」実証実験実施（～平22.3.31）
平成 21	2. 14	地下鉄南北線緊急地震速報の情報提供開始
	4. 1	七北田出張所の運転業務等を委託 市バスダイヤ改正（急行川内南キャンパス系統を新設）
	10. 26	地下鉄東西線青葉山トンネル到達式開催
平成 22	2. 20	地下鉄南北線全線で可動式ホーム柵 供用開始
	3. 27	仙台北部道路（利府しらかし台IC～富谷JCT間）開通
	4. 1	経路・運賃等検索システム「せんだい市バス・地下鉄ナビ」運用開始 「学都仙台 市バス（+地下鉄）フリーパス」本格実施 新寺出張所開所、運転業務等を委託 市バスダイヤ改正（都市計画道路「川内南小泉線」（安養寺工区）の運行開始）
	12. 4	東北新幹線全線開業（新青森駅開業）
平成 23	3. 11	東日本大震災（M9.0/震度7）発生 南北線全線で運転を見合わせる 東西線全工区の工事を中断 市バス 全線で運行停止後、安全を確認した路線で運行 岡田出張所は津波により機能停止 ※震災関連の状況はP.84を参照
	6. 1	市バスダイヤ改正（東日本大震災の影響により2か月延期） 東仙台営業所の運転業務等を委託（委託事業所を新寺出張所から変更、新寺出張所は直営化）
	7. 13	新幹線特別ダイヤ（徐行あり）のため地下鉄ダイヤ改正（～平23.9.22）

年号	月日	主要事項
平成 24	4. 1	被災した岡田出張所の機能を新寺出張所へ移管 東仙台営業所と新寺出張所の運転業務等を委託 市バスダイヤ改正
	6. 26	地下鉄東西線の駅舎デザイン公表
	7. 14	地下鉄南北線トンネル内携帯電話エリア化実施
	11. 2	仙台駅西口バスターミナル等における公衆無線LANサービス開始
	11. 13	地下鉄東西線車両デザイン公表
平成 25	2. 25	常時記録型ドライブレコーダーを川内営業所に14台試験導入（平28.3.31全車導入完了）
	4. 1	霞の目営業所の一部運転業務等を「霞の目分室」として委託 市バスダイヤ改正
	6. 14	第1回仙台市地下鉄東西線駅名検討委員会を開催
	7. 14	地下鉄東西線のトンネル全線貫通
	7. 30	地下鉄東西線の駅名 市民意見募集（～8.31）
	11. 8	ICカード乗車券の名称を icsca に決定
	12. 24	地下鉄東西線の正式駅名公表
平成 26	2. 26	ICカード乗車券 icsca のデザイン決定
	4. 1	消費税率引き上げ（5%→8%） 消費税率引き上げに伴うバス・地下鉄の運賃改定を実施 市バスダイヤ改正
	8. 11	地下鉄南北線長町一丁目駅「南2市立病院方面」出入口 供用開始
	9. 4	IC対応新型車載機への順次更新開始
	9. 29	地下鉄東西線車両の第1編成（4両編成）を荒井車両基地に搬入
	11. 1	市バスダイヤ改正（新市立病院開院に伴う路線新設等）
	12. 1	定期乗車券購入時のクレジットカード決済取扱開始
	12. 6	地下鉄南北線でICカード乗車券 icsca サービス開始
平成 27	2. 2	地下鉄東西線レール締結式（全レール・リアクションプレート設置完了）
	3. 3	地下鉄東西線車両、本線入線試験で全線初走行
	4. 1	市バスダイヤ改正 地下鉄乗務員・運転士・バス運転手の制服デザインリニューアル
	7. 1	地下鉄南北線4駅の駅業務を委託（愛宕橋駅、河原町駅、長町一丁目駅、長町駅）
	7. 29	地下鉄南北線駅構内売店リニューアル
	8. 10	地下鉄東西線車両 全線で運転訓練開始
	9. 1	地下鉄南北線4駅の駅業務を委託（黒松駅、旭ヶ丘駅、北仙台駅、北四番丁駅）
	10. 1	地下鉄東西線9駅の駅業務を委託（青葉山駅、川内駅、国際センター駅、青葉通一番町駅、宮城野通駅、連坊駅、薬師堂駅、卸町駅、六丁の目駅）
	11. 10	東北運輸局による東西線完成検査合格
	11. 18	icsca チャージ機サービス開始
	12. 5	地下鉄東西線開業記念式典開催 新寺出張所 閉所

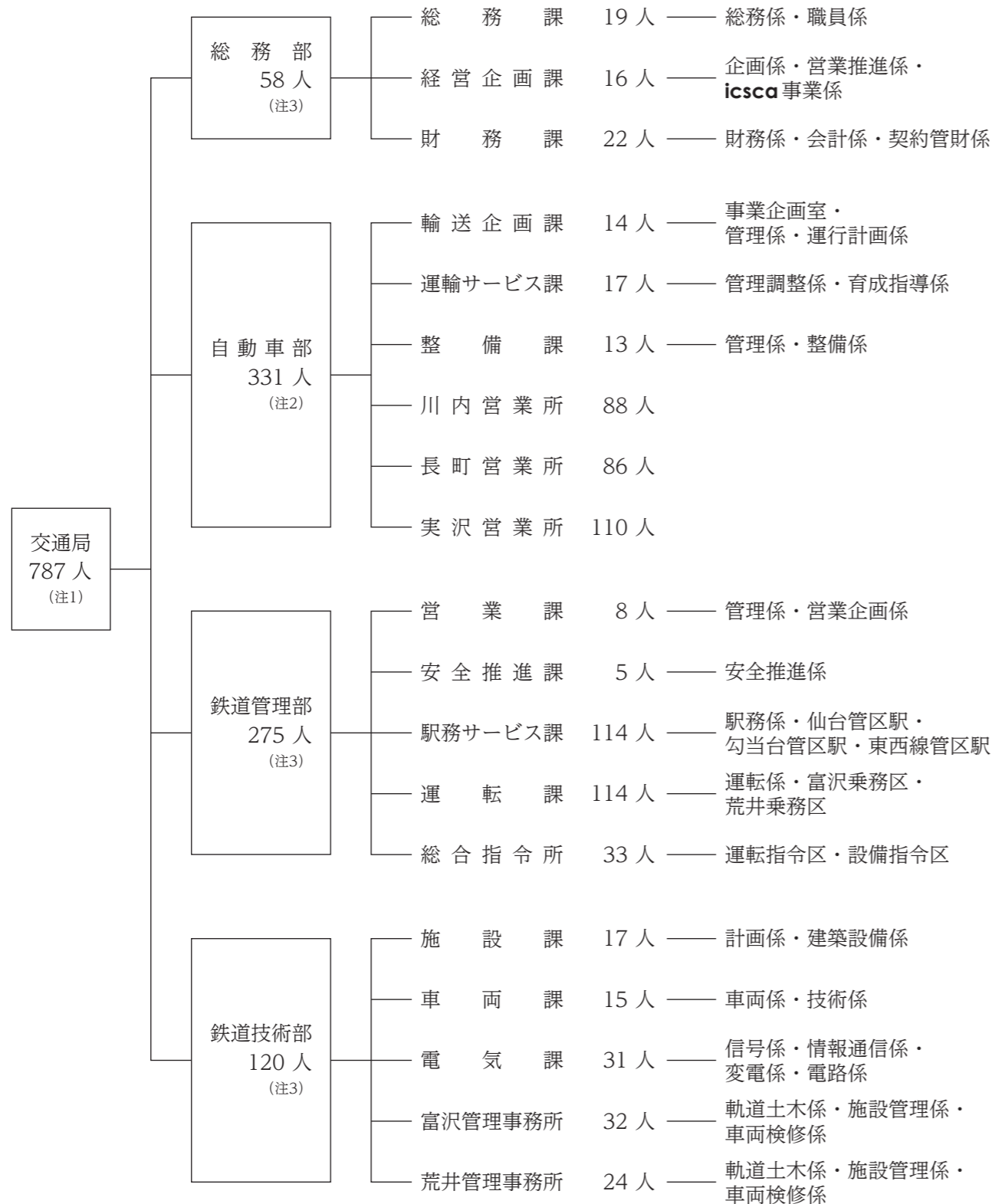
年号	月日	主要事項
	12. 6	地下鉄東西線開業（13.90km）一番列車出発式の開催 市バスダイヤ改正（東西線開業に合わせた路線再編等） 地下鉄南北線ダイヤ改正（東西線開業に伴う運行間隔の変更等） 「学都仙台 市バス・地下鉄フリーパス」新券種設定 「るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券」発売開始 市バス・地下鉄東西線で icsca サービス開始 ※宮城交通バス・ミヤコーバス（一部）でも同時開始 icsca 付き身分証サービスの運用開始 東西線結節駅周辺バス均一運賃制度実施 市中心部地下鉄均一運賃制度実施 霞の目営業所の運転業務等を委託（一部霞の目分室として委託していたものを完全委託）
平成 28	2. 1	ICカード化したふれあい乗車証の運用開始
	3. 28	仙台Suicaエリアで icsca とSuica（Suicaと相互利用している交通系ICカードを含む）との相互利用開始
	4. 1	市バスダイヤ改正（沖野・古城・南小泉地区から地下鉄東西線駅への結節強化等）
	8. 1	地下鉄南北線駅構内で無料Wi-Fi接続サービス「SENDAI free Wi-Fi」使用開始（～令6.3.31）
	10. 1	ICカード化した敬老乗車証の運用開始
	10. 31	プリペイドカードシステム（磁気カード）の利用停止
	11. 13	地下鉄東西線開業1周年記念事業実施（～平29.1.20）
	11. 15	地下鉄東西線駅構内で無料Wi-Fi接続サービス「SENDAI free Wi-Fi」使用開始（～令6.3.31）
	12. 19	「せんだい市バス・地下鉄ナビ」スマートフォン版サイト 供用開始
	12. 31	地下鉄南北線年末年始ダイヤ改正
平成 29	4. 1	市バスダイヤ改正
	7. 14	市バス運行開始75周年・地下鉄開業30周年記念事業実施（～9.3）
	9. 12	仙台市交通局安全方針制定
	12. 3	地下鉄南北線ダイヤ改正（朝ラッシュ緩和・東西線乗継改善）
	12. 21	地下鉄東西線が平成29年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者内閣総理大臣表彰を受賞
平成 30	4. 1	一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス）の休止 市バスダイヤ改正（恵和町線の延伸や減便等による運行効率の改善） 地下鉄南北線五橋駅の駅業務を委託 地下鉄東西線大町西公園駅の駅業務を委託 漏電による南北線全線運行停止（影響人員約69,500人）
	4. 18	
	10. 1	市バス運賃改定（学都仙台フリーパス、都心バス均一運賃、市中心部の初乗り運賃）
	11. 13	「南北線の漏電による全線運休事故に関する調査報告書」取りまとめ
平成 31	3. 29	交通局公式Twitter（現X）開設
	4. 1	市バスダイヤ改正

年号	月日	主要事項
		地下鉄南北線原駅の駅業務を委託 地下鉄運行停止時における対応マニュアル（情報伝達、お客様対応版）策定
	4. 30	明仁天皇が退位
令和 元	5. 1	徳仁親王が天皇陛下に即位 「令和」に改元
	10. 1	消費税率引き上げ（8%→10%） 消費税率引き上げに伴うバス・地下鉄の運賃改定を実施
令和 2	1. 12	ドライバー異常時対応システム搭載バスの運行開始
	4. 1	市バスダイヤ改正
	5. 2	地下鉄南北線・東西線コロナウイルス対応の臨時減便ダイヤ運行（～5.31） 当面の間金曜ダイヤ休止
	6. 1	計画運休の導入
	12. 2	地下鉄東西線開業5周年記念事業実施（～12.28）
令和 3	3. 31	「仙台市交通事業経営計画2021-2030（令和3～12年度）」策定
	4. 1	市バスダイヤ改正
	5. 18	地下鉄南北線の新型車両デザイン決定（令3.3.9～デザイン投票を実施）
	10. 31	仙台MaaSにて「るーぶる仙台一日乗車券」「るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券」発売開始 仙台MaaSにて「120円パック一日乗車券」実証実験実施（～令5.3.31 / 令5.4.1本格実施）
令和 4	3. 31	一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス・観光バス）の廃止
	4. 1	市バスダイヤ改正
令和 5	4. 1	icsca ポイント制度見直し（基本ポイント廃止、乗継ポイント継続） 市バスダイヤ改正
	7. 1	地下鉄南北線・東西線ダイヤ改正（土休日）（令5.7.3～平日）
	7. 31	「仙台市交通事業経営検討委員会」設置
	9. 11	地下鉄南北線新型車両3000系1編成目（4両）富沢車両基地へ搬入
	11. 3	地下鉄南北線新型車両3000系 夜間本線試験で全線初走行
令和 6	2. 15	「イクスカずめ」交通局マスコットキャラクター化
	4. 1	市バスダイヤ改正
	4. 27	小児運賃無料化実証実験実施（～令6.5.6 / 令6.9.14～12.1） るーぶる仙台におけるクレジットカード等のタッチ決済を活用した乗車サービスの実証実験実施
	10. 1	
	10. 16	地下鉄南北線新型車両3000系グッドデザイン賞受賞
	10. 24	地下鉄南北線新型車両3000系 出発式開催 第1編成目営業運行開始
令和 7	4. 1	市バスダイヤ改正 地下鉄南北線長町南駅の駅業務を委託
	5. ー	交通局公式Instagram開設
令和 8	3. ー	市バス運賃改定に向け、仙台市乗合自動車運賃条例を改正 「仙台市交通事業経営計画2026-2035（令和8～17年度）」策定

仙台市交通局の紹介

組織機構と職員数 (令和7年4月1日現在)

※管理者除く。再任用職員(常勤)を含む。



注1：理事・次長を含む

注2：部長及び事故防止・接遇向上担当課長、事業企画担当課長を含む

注3：部長各1名を含む

自動車運送事業の概況

自動車運送事業は、昭和17年に仙台市街自動車株式会社を買収する形で、同年8月21日から運行を開始しました。開業当時の免許路線は231.4km、在籍車両は67両でした。その後、戦中・戦後の物資の欠乏、労働力不足の時代を経て、昭和30年代からは、社会・経済の復興、市街地の拡大に伴って飛躍的に路線網を伸張し、市民の移動手段としての地位を確たるものとしてきました。平成27年12月の地下鉄東西線開業に伴うバス路線再編後も、仙台都市圏における主要な公共交通機関として、また軌道系交通機関に結節してこれを面的に補完する公共交通機関として大きな役割を果たしており、令和7年4月1日現在、営業路線565.13km、45路線236系統の路線を合計458両で運行しています。なお、令和4年3月に、平成13年3月から休止していた観光貸切事業と、平成30年4月から休止していた一般貸切事業を廃止しました。

令和6年度における乗車人員は年間約3,453万人(1日あたり約9万5千人)で、前年度の約3,394万人(1日あたり約9万3千人)と比べ、約1.7%増加した一方、令和元年度(約3,757万人(1日あたり約10万3千人))と比べると、約8.1%の減となっており、新型コロナウイルス感染症の流行による乗車料収入の落ち込みから、厳しい経営状況となっています。

バス事業は、長期にわたる乗車人員の減少傾向が続いており、これまでも、経営基盤の強化を図るため、増客・増収や経費削減などに取り組んできました。そ

のなかで、事業効率向上のための需要動向に応じた便数調整を行い、事業量を削減しました。平成30年4月、令和2年4月及び令和3年4月のダイヤ改正では、それぞれ約2.5%削減。令和5年4月のダイヤ改正では、約1.3%削減しました。また、事業効率向上のための事業量削減に加え、バス運転士不足の深刻化や「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」の改正への対応のため、令和6年4月のダイヤ改正では、約2.8%削減、令和7年4月のダイヤ改正では、平日ダイヤの日中から夜間の時間帯を中心に、約1.4%削減したほか、令和6年度にはバス運転士採用に当たっての年齢要件の上限を45歳から55歳へと緩和するとともに、募集回数増加を行うことで、担い手の確保に努めました。

また、バス運転業務等の管理の委託について、事業量の概ね2分の1の委託を継続するとともに、バス車両の更新について、毎年25両としていたところ、令和6年度は15両、令和7年度は更新を凍結するなど、経費削減に向けた取組みを続けています。

一方、厳しい経営状況の中にあっても、安全運行を第一とし、サービス向上の取組みを進めてきました。

安全運転の強化等への取組みとしては、令和元年10月の令和元年東日本台風の被害を受け、お客様の安全を第一とし、また、運転や保守業務などに従事する職員の安全を確保するとともに車両等への被害を最小限に抑え、早期の運行再開が出来るようにするため、令和2年6月に「計画運休」を導入することとしました。



また、乗務員の安全意識や接客向上に向けて、外部講師による研修やドライブレコーダーの映像を活用した研修を実施してきたほか、経験年数の短い乗務員に対する添乗指導を継続し、安全・安心なサービスの提供に努めてきました。このほか、バリアフリー化の推進や環境・安全対策として、ドライバー異常時対応システムを搭載した低公害ノンステップバスの導入を継続して進めてきました。

乗客サービス向上に向けた取組みとしては、バス待ち環境について、バス停留所上屋の増設や電照式バス停留所等の整備を継続して進めてきたほか、バス接近表示器や「どこバス仙台」を運用し、利用しやすい情報提供に努めてきました。また、地下鉄7駅にバス発車時刻を表示する液晶モニターを設置するなど地下鉄との連携強化に取り組んできました。令和3年度から令和7年度にかけて、車両のLED行先表示器について、白色LEDを使用し、より明るく遠くからでも見やすい機器に計画的な更新を進めています。さらに、耐用年数を迎える機器について、安定稼働を維持するため、令和5年度から令和6年度にかけて、運賃箱等のIC対応型バス車載機の更新を進め、令和6年7月の新紙幣流通に備えて、6月までに運賃箱のソフトウェアを更新し全車両対応を終えています。

また、令和5年4月に施行された改正省エネ法により、令和12年度までの非化石エネルギー自動車への転換目標(保有車両の5%)が掲げられています。このことは本

市脱炭素都市づくり推進の一助にもなることから、電気バスの導入を目指し令和6年度から業務委託で調査等を行い、令和7年度以降も引き続き検討を進めています。

生産年齢人口の減少による需要減など、厳しい経営状況の中にあっても、将来にわたり事業を安定的に維持していくことができるよう、市バス・地下鉄を合わせた本市交通事業の経営計画として、令和3年3月に「仙台市交通事業経営計画2021-2030(令和3~12年度)」を策定しました。しかしながら、コロナ禍の影響による行動変容が進むなか、物価上昇に伴う経費の増嵩や、特別減収対策企業債の償還負担の増加もあいまって、経営計画で見込んでいた収支見通しと実際の状況に乖離が生じたことから、令和5年7月に外部有識者による「仙台市交通事業経営検討委員会」を設置し、収支見通しを含めた経営計画の見直しに着手しました。新たな収支見通しを踏まえ、令和8年10月に約30年ぶりの全体的な運賃改定を実施するとともに、令和8年3月に策定した「仙台市交通事業経営計画2026-2035(令和8~17年度)」を基に、バス路線の再編や保有資産の活用等中長期的な視点で取り組むべき施策や、利用促進、サービス向上の取組みなど、更なる経営基盤の強化に向けた取組みを実施していきます。

引き続き、新たな計画に基づく取組みを着実に推進しながら、安全・安心と便利で快適なお客様サービスの提供を最優先に、持続可能な経営の確保に取り組んでいきます。



車両、路線、営業区域 (令和7年4月1日現在)

■ 車両

在籍車両 458 両 (乗合 458 両)

用途	車種	車両数	備考
乗合	大型一般車	3 両	
	大型ワンステップ車	11 両	
	大型ノンステップ車	404 両	うちハイブリッド車 9 両
	中型一般車	0 両	
	中型ワンステップ車	0 両	
	中型ノンステップ車	28 両	
	小型ノンステップ車	4 両	
	るーぶるバス	8 両	ワンステップ車 2 両・ノンステップ車 6 両

■ 路線

認可路線 565.62 km
 営業路線 565.13 km
 運転系統数 236 系統 (平均系統長 11.7 km)
 停留所数 1,079 か所 (停留所間平均距離 524 m)
 停留所標識数 2,053 基 (降車用標識は除く)

内訳	電照式	平型	可動式	屋内内照式	ソーラー式	広告付
	353 基	229 基	1,333 基	6 基	13 基	119 基

■ 営業区域

- ・ 仙台市
- ・ 多賀城市 (高砂線 [高橋地区] のみ)

高速鉄道事業の概況

高速鉄道事業は、昭和40年代以降、仙台都市圏の拡大、モータリゼーションの進展に伴う交通混雑激化の中で地下鉄建設計画の検討が始まり、昭和55年5月の事業免許を経て昭和62年7月15日に八乙女～富沢間で南北線の運行を開始。その後、平成4年7月15日には南北線が泉中央駅まで延伸され、さらに平成27年12月6日には東西線が開業しました。

東西線開業後の仙台市地下鉄は、南北・東西の両線が一体となって本市を東西南北に貫く十文字の骨格交通軸を形成し、仙台都市圏における基幹交通機関として市民生活に重要な役割を担っています。

令和6年度における乗車人員は年間約9,323万人(1日あたり約25万5千人)で、前年度の約9,014万人(1日あたり約24万6千人)と比べ、約3.4%増加しました。令和元年度(約9,168万人(1日あたり約25万人))と比べても約1.7%の増となっており、新型コロナウイルス感染症の流行による乗車料収入の落ち込みからも回復が見られています。

一方、このような厳しい経営状況の中にあっても、輸送の安全を確保し、安全・安心・快適にご利用いただけるサービス向上の取組みを進めてきました。

令和元年10月の令和元年東日本台風の際には、地下鉄駅構内への浸水により、エレベーターが使用停止となるなどの大きな被害に見舞われたことから、お客様の安全を第一としながら、運転や保守業務などに従事する職員の安全を確保するとともに車両等への被

害を最小限に抑え、早期の運行再開ができるようにするため、令和2年6月に「計画運休」を導入することとしました。また、地下鉄駅構内の浸水対策として、令和2年度に南北線仙台駅と五橋駅、令和5年度に南北線勾当台公園駅及び広瀬通駅、東西線仙台駅への止水板設置を進め、完了しました。

安全性向上のための取組みとしては、開業から年月が経過し設備の老朽化が進んでいる南北線設備においては特別高圧受電設備等の更新を進め、計画的な維持更新に取り組んでいます。南北線車両については、令和9年に鉄道車両の一般的な耐用年数である40年を迎えることから、令和2年3月に新型車両の製造に関する契約を締結し、令和12年度までに順次更新していく予定です。令和3年5月にはお客様の投票をもとに車両デザインを決定し、そのデザインによって製造された1編成目の車両は令和5年9月に搬入されました。その後走行試験を経て、令和6年10月に出発式を開催のうえ営業運行を開始しました。ホームとの段差の縮小、車いす・ベビーカースペースの増設、防犯カメラの各車両への設置など、安全性の向上が図られました。また、交通局バリアフリー特定事業計画の一環として、令和3年度に、南北線駅トイレにおいて入口の段差解消や車いす使用者用簡易型トイレの増設を含めた全面改修が完了したほか、令和3年度から令和7年度にかけてホームと車両の間隔縮小事業を完了させました。さらに、省エネルギー化への取組みとして、

ずい道照明のLED化や荒井駅及び荒井車両基地への太陽光発電設備の新設のほか、八乙女変電所に列車の回生電力を有効活用する駅舎補助電源装置の新設を進めるなど、脱炭素化にも取り組んでいます。

利便性向上のための取組みとしては、駅構内の券売機及び精算機について、新紙幣に対応する機種への更新を進めたほか、輸送障害発生時におけるX(旧Twitter)発信や地下鉄運行情報のメール配信サービスを実施しています。

利用しやすい環境づくりの取組みについては、駅窓口でのタブレット端末による翻訳、筆談、地図等による案内業務を実施しているほか、「心のバリアフリー推進事業」の一環として職員への接客研修や介助法研修等を実施し、お客様サービスの向上に努めています。また、小学生を対象とした「交通バリアフリー教室」やお客様へ乗車マナー向上を呼びかける「マナーアップキャンペーン」などの啓発活動を行っています。

効率的な事業運営に向けた取組みとしては、南北線において新たに長町南駅を加えた11駅、東西線10駅において駅業務の委託を実施しており、令和8年度に南北線でさらに1駅拡大する予定としています。

東西線開業後、仙台市地下鉄の乗客数は順調に増加してきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛等の影響により両線とも乗客数が減少したほか、原油価格高騰の影響を受け電気料金の著しい上昇及び東西線建設事業に係る企業債償還や車

両更新をはじめとした南北線設備の維持更新による資本費負担の増大等が経営課題となっていたことから、これらの状況を踏まえ、利用状況に応じた運行本数の見直しを主な目的として、令和5年7月から南北線及び東西線のダイヤを改正しました。

このような厳しい状況下においても、将来にわたり事業を安定的に維持していくことができるよう、市バス・地下鉄を合わせた本市交通事業の経営計画として、令和3年3月に「仙台市交通事業経営計画2021-2030(令和3~12年度)」を策定。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響の拡大・長期化等により、経営計画で見込んでいた収支見通しと実際の状況に乖離が生じたことから、令和5年7月に外部有識者による「仙台市交通事業経営検討委員会」を設置し、収支見直しを含めた経営計画の見直しに着手しました。同委員会での議論を経て、令和8年3月に策定した「仙台市交通事業経営計画2026-2035(令和8~17年度)」を基に、更なる経営基盤の強化に向けた取組みを実施していくことで、引き続き、安全・安心を最優先に、便利で快適なお客様サービスを提供しながら、持続可能な経営の確保に取り組んでいきます。



営業設備、営業路線 (令和7年4月1日現在)

■ 地下鉄南北線

項目	内容
営業区間	泉中央～富沢
建設キロ	15.44km (地上部 3.75km、地下部 11.69km)
営業キロ	14.77km
駅数	17 (地上駅 4、地下駅 13)
駅間距離	最長 1.52km (長町南～富沢) 最短 0.57km (広瀬通～仙台) 平均 0.92km
建設期間	昭和 55 年度～平成 4 年度
開業年月	昭和 62 年 7 月 (八乙女～富沢)
延伸開業年月	平成 4 年 7 月 (泉中央～八乙女)
建設費	2,437 億円
工法	開削、シールド、NATM、橋梁、高架橋
軌間	1,067mm
集電方式	直流 1,500V 架空線方式
車両基地	85,449㎡
変電所	4 か所 (八乙女、北仙台、土樋、長町南) 設備容量：変成設備 24,000kW、配電設備 19,500kVA
車両	1000N 系 定員：576 人／編成 (144 人／両) 4 両 21 編成 84 両 長さ：先頭車 21.75m、中間車 20.00m 幅：2.89m 高さ：4.04m 3000 系 定員：580 人／編成 (145 人／両) 4 両 1 編成 4 両 長さ：先頭車 21.75m、中間車 20.00m 幅：2.89m 高さ：4.02m
保安設備	車内信号速度制御式、列車無線、ATC (自動列車制御装置)、ATO (自動列車運転装置)、 運行管理システム、可動式ホーム柵
駅舎	エスカレーター (全駅)、エレベーター (全駅)、駅冷房 1 駅 (仙台)
駅務機器	自動券売機、自動精算機、自動改集札機 (全駅)
運転本数	平日 157 本 朝ラッシュ時：3 分 00 秒～4 分 00 秒 夕ラッシュ時：5 分 00 秒～5 分 30 秒 ラッシュ時以外：8 分 00 秒～10 分 00 秒 (早朝・深夜を除く) 土曜休日 113 本 朝ラッシュ時：8 分 00 秒 朝ラッシュ時以外：10 分 00 秒 (早朝・深夜を除く)

■ 地下鉄東西線

項目	内容
営業区間	八木山動物公園～荒井
建設キロ	14.38km (地上部 0.60km、地下部 13.78km)
営業キロ	13.90km
駅数	13 (地下駅)
駅間距離	最長 2.07km (八木山動物公園～青葉山) 最短 0.64km (川内～国際センター) 平均 1.16km
建設期間	平成 15 年度～平成 27 年度
開業年月	平成 27 年 12 月
建設費	2,327 億円
工法	開削、シールド、NATM、橋梁、高架橋
軌間	1,435mm
集電方式	直流 1,500V 架空線方式
車両基地	62,100㎡
変電所	3 か所 (青葉山、宮城野通、卸町) 設備容量：変成設備 18,000kW、配電設備 17,000kVA
車両	2000 系 定員：388 人／編成 (先頭車 92 人／両、中間車 102 人／両) 4 両 15 編成 60 両 長さ：先頭車 16.75m、中間車 16.5m 幅：2.494m 高さ：先頭車 3.145m、中間車 3.14m
保安設備	車内信号速度制御式、列車無線、ATC (自動列車制御装置)、ATO (自動列車運転装置)、 運行管理システム、可動式ホーム柵
駅舎	エスカレーター (全駅)、エレベーター (全駅)、駅冷房 2 駅 (青葉通一番町、仙台)
駅務機器	自動券売機、自動精算機、自動改集札機 (全駅)
運転本数	平日 140 本 朝ラッシュ時：5 分 00 秒～6 分 00 秒 夕ラッシュ時：6 分 00 秒 ラッシュ時以外：8 分 00 秒～10 分 00 秒 (早朝・深夜を除く) 土曜休日 112 本 朝ラッシュ時：8 分 00 秒 朝ラッシュ時以外：10 分 00 秒 (早朝・深夜を除く)

運輸成績の推移

バス創業以来の運輸成績

年度	免許キロ	営業キロ	休止キロ	走行キロ	停留所数	乗車人員	乗車料収入 (円銭)
昭和 17	231.40	132.10	99.30	182,263	83	1,354,256	106,257.00
18	310.20	279.50	30.70	731,563	96	3,183,223	361,802.27
19	310.20	243.40	66.80	505,084	82	2,168,780	373,632.54
20	310.20	122.40	187.80	395,425	114	1,597,796	411,968.55
21	310.20	142.70	167.50	321,690	98	1,100,918	1,411,876.55
22	310.20	144.20	166.00	428,878	201	1,385,450	7,692,928.63
23	319.20	232.30	86.90	677,330	204	2,125,045	24,947,122.58
24	332.40	249.00	83.40	1,155,896	201	4,195,836	53,880,152.66
25	229.30	215.90	13.40	1,708,013	312	7,115,658	83,637,764.84
26	256.50	238.30	18.20	2,622,460	345	10,528,193	126,965,585
27	281.05	262.65	18.40	3,628,020	388	14,067,919	190,311,461
28	287.25	270.90	16.35	4,116,468	407	17,763,348	234,506,455
29	316.45	292.13	24.32	4,867,756	440	20,638,226	283,920,850
30	312.68	287.96	24.72	5,360,254	467	24,960,423	330,886,458
31	314.47	308.65	5.82	6,636,298	486	30,011,041	379,646,611
32	388.22	324.92	63.30	7,247,440	502	35,834,618	444,504,459
33	357.87	344.97	12.90	7,877,117	545	39,570,934	508,108,653
34	388.62	376.22	12.40	9,230,082	589	42,885,100	588,338,948
35	391.42	389.32	2.10	10,130,350	631	48,457,656	649,035,814
36	410.02	407.92	2.10	11,104,311	660	56,276,251	751,981,676
37	415.86	413.76	2.10	13,073,447	683	65,883,828	936,514,841
38	415.77	415.77	0.00	14,871,610	671	72,517,787	1,227,162,291
39	420.57	420.57	0.00	14,886,357	698	79,358,514	1,348,467,252
40	429.87	429.87	0.00	15,977,298	712	81,563,598	1,709,356,730
41	429.87	429.87	0.00	16,480,555	705	82,861,746	1,868,680,674
42	444.57	444.57	0.00	18,043,976	739	89,850,780	1,982,529,404
43	463.38	462.28	1.10	18,999,018	761	90,516,823	2,083,171,683
44	476.58	476.58	0.00	19,540,311	795	93,857,606	2,230,199,043
45	489.98	489.98	0.00	20,595,911	834	94,910,889	2,954,073,010
46	523.43	523.43	0.00	21,832,598	888	96,138,440	3,047,811,983
47	530.33	530.33	0.00	22,711,697	896	99,462,078	3,993,694,577
48	539.93	539.93	0.00	22,840,879	906	100,934,988	4,425,691,101
49	535.15	535.15	0.00	22,446,205	908	105,363,864	5,459,304,892
50	541.25	540.65	0.60	22,757,359	919	102,108,852	6,762,948,854
51	550.91	550.91	0.00	24,468,733	942	108,311,361	8,045,175,615
52	560.78	555.59	5.19	24,770,585	956	109,006,837	8,492,932,750
53	560.78	548.92	11.86	24,745,703	959	108,427,301	9,178,190,917
54	575.83	573.67	2.16	25,513,580	1,008	109,362,770	9,946,837,272
55	590.45	587.57	2.88	25,918,819	1,041	110,029,896	10,919,696,230
56	606.68	600.81	5.87	26,276,521	1,065	109,867,750	11,411,602,590
57	620.68	613.98	6.70	26,757,198	1,090	109,615,664	12,278,269,373
58	635.20	634.07	1.13	27,340,241	1,115	106,086,506	12,625,817,896
59	649.51	647.98	1.53	27,414,293	1,150	99,848,781	13,653,406,575
60	666.87	664.12	2.75	27,590,722	1,183	95,615,312	13,309,660,852
61	682.94	678.25	4.69	27,612,895	1,210	91,434,157	13,581,079,338
62	701.99	695.09	6.90	27,210,264	1,259	84,250,593	12,015,503,616
63	714.67	699.09	15.58	26,686,976	1,279	78,322,307	11,447,516,999
平成元	718.77	681.49	37.28	26,652,562	1,288	74,414,629	11,581,696,269
							11,259,464,558
2	707.49	677.26	30.23	26,647,867	1,276	72,996,022	12,137,316,105
							11,796,181,034
3	704.87	667.65	37.22	26,262,317	1,281	74,793,900	12,465,606,043
							12,116,650,028
4	684.42	664.26	20.16	25,972,684	1,231	73,750,936	13,003,218,666
							12,640,028,399
5	705.38	670.96	34.42	24,750,980	1,235	70,411,193	12,553,830,160
							12,204,718,078
6	702.14	670.67	31.47	24,392,458	1,235	67,497,572	12,568,494,808
							12,222,219,760
7	702.10	661.98	40.12	24,546,616	1,204	64,716,796	13,055,270,841
							12,696,669,273

注1 昭和 59 年度以降の乗車人員、乗車料収入には敬老乗車証に係る分を含む。 注2 平成 5 年度以降の乗車人員、乗車料収入にはふれあい乗車証に係る分を含む。
 注3 平成元年度以降の乗車料収入には消費税及び地方消費税分を含む（下段は税抜き）。 注4 いずれも決算ベースの数値である。

車両数		1 日平均				1 車 1 キロ当たり	
在籍車両数	使用車両数	走行キロ	乗車人員	乗車料収入	使用車両	乗車人員	乗車料収入 (円銭)
67	2,567	817	6,073	476	12	7.4	0.58
65	8,471	1,999	8,697	989	23	4.4	0.49
40	5,102	1,384	5,942	1,024	14	4.3	0.74
45	3,981	1,083	4,378	1,129	11	4.0	1.04
23	4,092	881	3,016	3,868	11	3.4	4.39
27	4,770	1,172	3,785	21,019	13	3.2	17.94
35	6,656	1,856	5,822	68,348	18	3.1	36.83
45	11,148	3,167	11,495	147,617	31	3.6	46.61
60	15,938	4,679	19,495	229,145	44	4.2	48.97
77	23,779	7,165	28,766	346,901	65	4.0	48.41
105	32,437	9,940	38,542	521,401	89	3.9	52.46
125	38,694	11,278	48,667	642,483	106	4.3	56.97
135	40,946	13,336	56,543	777,865	112	4.2	58.33
145	46,309	14,646	68,198	904,061	127	4.7	61.73
165	52,607	18,182	82,222	1,040,128	144	4.5	57.21
185	60,812	19,856	98,177	1,217,820	167	4.9	61.33
204	65,750	21,581	108,414	1,392,079	180	5.0	64.50
234	77,802	25,219	117,172	1,607,483	213	4.6	63.74
253	83,301	27,754	132,761	1,778,180	228	4.8	64.07
296	90,390	30,423	154,182	2,060,224	248	5.1	67.72
350	105,469	35,818	180,504	2,565,794	289	5.0	71.63
371	122,158	40,633	198,136	3,352,902	334	4.9	82.52
390	124,027	40,785	217,421	3,694,431	340	5.3	90.58
415	139,489	43,773	223,462	4,683,169	382	5.1	106.99
416	141,433	45,152	227,018	5,119,673	387	5.0	113.39
441	149,555	49,300	245,494	5,416,747	409	5.0	109.87
461	158,056	52,052	247,991	5,707,320	433	4.8	109.65
481	165,907	53,535	257,144	6,110,134	455	4.8	114.13
531	177,271	56,427	260,330	8,093,351	486	4.6	143.43
580	192,841	59,652	262,673	8,327,355	527	4.4	139.60
620	205,429	62,224	272,499	10,941,629	563	4.4	175.84
630	210,295	62,578	276,534	12,125,181	576	4.4	193.76
645	213,220	61,496	288,668	14,957,000	584	4.7	243.22
685	221,028	62,179	278,986	18,478,002	604	4.5	297.18
725	239,037	67,038	296,743	22,041,577	655	4.4	328.79
725	243,986	67,865	298,649	23,268,309	668	4.4	342.86
725	245,496	67,796	297,061	25,145,729	673	4.4	370.90
740	250,005	69,709	298,805	27,177,151	683	4.3	389.86
760	252,890	71,010	301,452	29,916,976	693	4.2	421.30
760	257,905	71,990	301,008	31,264,665	707	4.2	434.29
760	258,885	73,307	300,317	33,639,094	709	4.1	458.88
770	260,707	74,700	289,854	34,496,770	712	3.9	461.80
770	258,628	75,108	273,558	37,406,593	709	3.6	498.04
770	257,125	75,591	261,960	36,464,824	704	3.5	482.40
770	257,682	75,652	250,505	37,208,437	706	3.3	491.84
718	245,089	74,345	230,193	32,829,245	670	3.1	441.58
718	237,624	73,115	214,582	31,363,060	651	2.9	428.96
718	236,808	73,021	203,876	31,730,675	649	2.8	434.54
716	233,599	73,008	199,989	33,252,921	640	2.7	455.47
694	233,325	71,755	204,355	34,059,033	638	2.8	474.66
668	228,081	71,158	202,057	35,625,257	625	2.8	500.65
678	219,366	67,811	192,907	34,394,055	601	2.8	507.21
678	214,462	66,829	184,925	34,434,232	588	2.8	515.26
661	215,131	67,067	176,822	35,670,139	588	2.6	531.86

バス創業以来の運輸成績

年度	免許キロ	営業キロ	休止キロ	走行キロ	停留所数	乗車人員	乗車料収入 (円銭)	
							乗車料収入	消費税
平成8	669.57	665.94	3.60	23,381,771	1,214	59,935,437	12,513,843,874	12,171,357,148
9	633.06	630.00	3.06	22,913,418	1,124	57,548,711	12,297,883,967	11,752,515,000
10	639.81	636.75	3.06	22,533,706	1,145	54,829,553	11,739,166,985	11,219,495,891
11	639.81	636.55	3.26	22,833,211	1,145	52,810,104	11,389,861,066	10,888,673,435
12	640.99	606.05	34.94	22,412,425	1,138	50,622,729	10,991,816,303	10,510,241,006
13	616.34	608.88	7.46	22,367,164	1,148	49,035,978	10,459,263,630	10,005,014,347
14	586.59	586.59	0.00	20,706,673	1,091	45,770,206	9,948,971,280	9,524,039,036
15	577.09	577.09	0.00	19,566,974	1,066	42,749,993	9,333,098,732	8,937,734,063
16	584.85	584.85	0.00	18,701,967	1,070	40,501,591	8,780,386,508	8,410,208,334
17	584.85	584.85	0.00	18,644,236	1,070	40,081,307	8,652,406,198	8,290,383,011
18	584.55	584.55	0.00	18,629,723	1,070	39,789,763	8,564,229,978	8,208,389,465
19	570.22	570.22	0.00	17,268,964	1,080	38,501,228	7,666,723,345	7,353,665,163
20	581.07	581.07	0.00	17,330,382	1,093	39,202,837	7,646,436,137	7,336,033,571
21	582.20	582.20	0.00	17,603,113	1,095	38,957,007	7,488,452,825	7,191,344,312
22	584.20	584.20	0.00	17,313,860	1,097	40,677,372	7,290,389,512	6,999,513,301
23	584.96	584.96	0.00	17,650,782	1,098	40,487,021	7,232,492,419	6,944,244,824
24	590.74	590.74	0.00	18,143,826	1,104	43,785,732	7,578,862,054	7,272,599,079
25	594.14	594.14	0.00	18,289,158	1,107	44,531,921	7,594,281,513	7,282,346,044
26	595.28	594.79	0.49	18,487,192	1,110	44,778,918	7,717,199,544	7,229,468,258
27	592.19	580.97	11.22	18,217,405	1,099	40,915,520	7,215,095,042	6,770,749,742
28	589.44	578.22	11.22	17,383,473	1,100	37,748,503	6,741,871,171	6,348,139,080
29	577.66	577.17	0.49	17,287,609	1,078	38,765,305	6,869,093,737	6,465,855,993
30	568.75	568.26	0.49	16,902,877	1,068	38,527,481	6,869,629,958	6,470,193,844
令和元	568.85	568.36	0.49	16,890,241	1,070	37,571,140	6,868,464,385	6,432,053,596
2	569.09	568.60	0.49	16,482,196	1,072	27,905,575	5,204,516,817	4,832,678,290
3	563.47	562.98	0.49	16,119,870	1,065	29,653,331	5,475,218,350	5,084,363,018
4	563.77	563.28	0.49	16,036,619	1,067	31,921,279	5,929,851,563	5,508,574,175
5	565.62	565.13	0.49	15,934,469	1,071	33,943,228	6,393,648,678	5,937,513,616
6	565.62	565.13	0.49	15,568,509	1,075	34,530,020	6,521,763,760	6,057,406,501

注1 昭和59年度以降の乗車人員、乗車料収入には敬老乗車証に係る分を含む。注2 平成5年度以降の乗車人員、乗車料収入にはふれあい乗車証に係る分を含む。
注3 平成元年度以降の乗車料収入には消費税及び地方消費税分を含む(下段は税抜き)。注4 いずれも決算ベースの数値である。

車両数		1日平均				1車1キロ当たり	
在籍車両数	使用車両数	走行キロ	乗車人員	乗車料収入	使用車両	乗車人員	乗車料収入(円銭)
658	208,038	64,060	164,207	34,284,504	570	2.6	533.60
653	206,571	62,776	157,668	33,692,833	566	2.5	536.90
647	201,388	61,736	150,218	32,162,101	552	2.4	521.00
651	202,635	62,386	144,290	31,119,839	554	2.3	498.83
641	198,067	61,404	138,692	30,114,565	543	2.3	490.43
627	192,447	61,280	134,345	28,655,517	527	2.2	467.62
552	178,301	56,731	125,398	27,257,456	488	2.2	480.47
524	168,722	53,462	116,803	25,500,270	461	2.2	476.98
514	160,035	51,238	110,963	24,055,853	438	2.2	469.49
514	157,793	51,080	109,812	23,705,222	432	2.1	464.08
517	157,199	51,040	109,013	23,463,644	431	2.1	459.71
495	151,720	47,183	105,195	20,947,332	415	2.2	443.96
501	153,270	47,481	107,405	20,949,140	420	2.3	441.22
509	153,257	48,228	106,732	20,516,309	420	2.2	425.40
514	150,637	47,435	111,445	19,973,670	413	2.3	421.07
516	153,844	48,226	110,620	19,760,908	420	2.3	409.75
521	156,593	49,709	119,961	20,764,006	429	2.4	417.71
530	157,975	50,107	122,005	20,806,251	433	2.4	415.23
532	162,153	50,650	122,682	21,143,012	444	2.4	417.43
496	158,557	49,774	111,791	19,713,374	433	2.2	396.06
496	148,230	47,626	103,421	18,470,880	406	2.2	387.83
493	147,335	47,363	106,206	18,819,435	404	2.2	397.34
480	145,784	46,309	105,555	18,820,904	399	2.3	406.42
480	145,959	46,148	102,653	18,766,296	399	2.2	406.65
472	142,272	45,157	76,454	14,258,950	390	1.7	315.77
466	141,236	44,164	81,242	15,000,598	387	1.8	339.66
466	141,787	43,936	87,456	16,246,169	388	2.0	369.77
466	143,280	43,537	92,741	17,468,985	391	2.1	401.25
462	141,494	42,653	94,603	17,867,846	388	2.2	418.91

地下鉄創業以来の運輸成績

年 度	営業キロ	走行キロ	乗車人員	乗車料収入 (円)	車両数		1日平均			
					在 籍 車両数	使用車両数	走行キロ	乗車人員	乗車料収入 (円)	使用 車両
昭和 62	13.6	4,457,971	29,581,173	4,411,085,634	76	14,720	17,080	113,338	16,900,711	56
63	13.6	6,230,270	43,648,614	6,417,316,736	76	20,576	17,069	119,585	17,581,690	56
平成元	13.6	6,214,168	46,947,986	7,119,997,149	76	20,516	17,025	128,625	19,506,842	56
				6,927,506,752						
2	13.6	6,207,259	50,778,386	7,723,615,986	76	20,440	17,006	139,119	21,160,592	56
				7,512,535,336						
3	13.6	6,220,150	54,904,107	8,398,537,867	76	20,208	16,995	150,011	22,946,825	55
				8,167,799,310						
4	14.8	6,673,546	56,629,407	9,737,879,390	80	22,140	18,284	155,149	26,679,122	61
				9,469,518,832						
5	14.8	6,763,126	58,389,553	10,120,535,845	80	22,188	18,529	159,971	27,727,495	61
				9,841,354,618						
6	14.8	6,769,402	59,524,774	10,444,631,627	80	22,212	18,546	163,082	28,615,429	61
				10,156,169,226						
7	14.8	6,785,622	61,010,251	10,873,452,554	84	22,236	18,540	166,695	29,708,887	61
				10,572,639,356						
8	14.8	6,847,545	59,972,526	11,494,849,614	84	23,076	18,760	164,308	31,492,739	63
				11,169,466,430						
9	14.8	6,859,267	60,800,441	12,027,564,137	84	23,092	18,793	166,577	32,952,230	63
				11,476,419,714						
10	14.8	6,854,472	59,634,039	11,821,129,236	84	23,192	18,779	163,381	32,386,656	64
				11,276,458,387						
11	14.8	6,944,160	59,757,227	11,917,256,762	84	23,372	18,973	163,271	32,560,811	64
				11,369,561,400						
12	14.8	6,925,452	60,488,289	12,103,733,849	84	23,316	18,974	165,721	33,160,915	64
				11,548,637,443						
13	14.8	6,911,720	60,204,018	12,061,473,615	84	23,256	18,936	164,943	33,045,133	64
				11,509,922,456						
14	14.8	6,910,536	58,776,255	11,811,867,594	84	23,256	18,933	161,031	32,361,281	64
				11,275,140,322						
15	14.8	6,933,384	58,248,341	11,686,985,900	84	23,352	18,944	159,148	31,931,656	64
				11,157,425,172						
16	14.8	6,919,060	58,439,758	11,640,086,682	84	23,268	18,956	160,109	31,890,648	64
				11,113,126,866						
17	14.8	6,917,648	58,943,898	11,723,693,329	84	23,292	18,953	161,490	32,119,708	64
				11,193,807,036						
18	14.8	6,908,330	58,609,217	11,611,399,885	84	23,184	18,927	160,573	31,812,055	64
				11,088,526,576						

年 度	営業キロ	走行キロ	乗車人員	乗車料収入 (円)	車両数		1日平均			
					在 籍 車両数	使用車両数	走行キロ	乗車人員	乗車料収入 (円)	使用 車両
平成 19	14.8	6,931,668	57,688,513	11,378,967,252	84	23,256	18,939	157,619	31,090,075	64
				10,868,358,333						
20	14.8	6,917,720	56,717,860	11,082,847,345	84	23,160	18,953	155,391	30,363,965	64
				10,587,540,806						
21	14.8	6,910,482	55,128,976	10,735,572,110	84	23,232	18,933	151,038	29,412,526	64
				10,257,110,361						
22	14.8	6,725,883	54,448,485	10,463,974,229	84	22,520	18,580	150,410	28,906,006	62
				9,997,775,715						
23	14.8	6,702,025	54,315,906	10,375,864,924	84	22,448	18,312	148,404	28,349,358	61
				9,913,305,725						
24	14.8	6,916,390	58,723,724	11,205,989,913	84	23,256	18,949	160,887	30,701,342	64
				10,704,168,384						
25	14.8	6,916,045	60,472,098	11,460,023,331	84	23,232	18,948	165,677	31,397,324	64
				10,943,422,516						
26	14.8	6,917,838	60,663,952	11,715,322,710	84	23,256	18,953	166,203	32,096,775	64
				10,908,598,766						
27	28.7	8,740,436	67,914,886	12,958,374,209	144	28,076	23,881	185,560	35,405,394	77
				12,059,408,008						
28	28.7	12,589,545	83,702,962	15,837,326,973	144	38,272	34,492	229,323	43,389,937	105
				14,747,241,622						
29	28.7	12,599,303	88,358,108	16,568,376,487	144	38,612	34,519	242,077	45,392,812	106
				15,425,350,435						
30	28.7	12,608,550	90,892,612	16,927,100,895	144	39,216	34,544	249,021	46,375,619	107
				15,761,663,072						
令和元	28.7	12,623,332	91,682,525	17,059,635,178	144	39,116	34,490	250,499	46,611,025	107
				15,775,986,430						
2	28.7	12,335,801	69,601,242	12,697,734,598	144	38,672	33,797	190,688	34,788,314	106
				11,619,880,614						
3	28.7	12,572,469	74,981,790	13,851,000,052	144	39,236	34,445	205,430	37,947,945	107
				12,675,739,651						
4	28.7	12,611,472	82,823,464	15,435,853,861	144	39,332	34,552	226,914	42,290,011	108
				14,129,669,937						
5	28.7	11,776,052	90,135,708	16,932,290,995	144	38,348	32,175	246,272	46,263,090	105
				14,315,904,778						
6	28.7	11,465,777	93,232,751	17,452,196,481	148	37,880	31,413	255,432	47,814,237	104
				15,976,387,855						

注1 乗車人員、乗車料収入には敬老乗車証に係る分を含む。 注2 平成5年度以降の乗車人員、乗車料収入にはふれあい乗車証に係る分を含む。
 注3 平成元年度以降の乗車料収入には消費税及び地方消費税分を含む（下段は税抜き）。
 注4 平成22年度は、東日本大震災により、年間362日（全線運休3日間を除く）で算定している。 注5 いずれも決算ベースの数値である。

取材協力・資料提供

(敬称略・順不同)

仙台市

せんだいメディアテーク

庄子 喜隆

森 研一郎

田代 良二

山本 清次

三浦 孝行

藤崎 訓一

矢吹 大智

高橋 靖

増子 桂

千葉 宏平



仙台市営交通100周年

1926 >>>>>>>>> 2026

ひととまちをつないだ100年の記録

発行

仙台市交通局

〒980-0801 宮城県仙台市青葉区木町通1-4-15

制作・印刷・製本

株式会社ユーメディア

発行日

2026年3月